

脳の疾患の特徴とその予後 ～脳画像から見る高次脳機能障害者支援～

高次脳機能障害の方の状態を理解するためには、脳の構造や機能についての知識が役立ちます。また、MRIやCTなどの脳画像は、脳損傷の状態を詳しく知るために欠かせない情報です。

本研修では、脳神経外科医として長年にわたり診断・治療を行われてきた刈部博先生より、画像所見からみられる臨床像についてご説明いただきます。

また、事例を通じて、支援の具体例をご紹介します。



日時	内容
令和6年8月28日（水） 17:30～19:30	<ul style="list-style-type: none">・画像所見から見る脳血管疾患の特徴とその予後・事例～画像所見からみられる臨床像 退院支援から在宅支援まで

講師 刈部 博 先生

仙台市立病院脳神経外科部長
東北大学医学部脳神経外科臨床教授
東北医科薬科大学脳神経外科臨床教授



会場 仙台市立病院

*お車をご利用の場合は仙台市立病院
から無料駐車券をお出します。

東北大学医学部卒業後、カルフォルニア大学サンフランシスコ校脳神経外科、東北大学医学部、札幌医科大学、広南病院などで多くの患者の治療に尽力されています。また、日本脳神経外科学会ほか多数の学会で役職を務められ、日本脳神経外傷学会では「頭部外傷治療・管理のガイドライン」の作成委員会委員長を務められています。

対象者： 福祉機関・医療機関・行政その他高次脳機能障害支援に関わる方々

定員： 50名（先着）

申込み： 方法1 ウェルポートせんだい ホームページから
⇒ウェルポートせんだい 研修で検索

方法2 右のQRコードから

申込期間： 令和6年7月22日（月）～8月23日（金）



注意事項：当研修会は、高次脳機能障害（者）支援体制加算に係る「高次脳機能障害支援養成研修」ではありません。

〈お問合わせ〉 仙台市障害者総合支援センター（ウェルポートせんだい）

電話：022-771-6511